

## 別添資料

1. 1部制小学校標準週間時間割
2. 小学校 2003 年度学年末試験結果
3. 1997 年初等大衆教育局通達 References No. PMED/admin-4/4 d -1/97/796
4. マイメンシン県小学校ランク付け表
5. NAPE 2002-03 年度研修実績、2003-04 年度研修及び活動計画
6. PTI 標準週間時間割
7. マイメンシン県 PTI 週間時間割
8. C-in-Ed 研修科目
9. 問題系図
10. 目的系図
11. PDM (Second Draft)
12. 活動計画 (Plan of Operation)
13. Organization of NAPE Faculty into Development
14. NAPE 2002-03 年度予算執行実績
15. NAPE 2003-04 年度予算執行計画
16. ガジプール県 PTI2002-03 年度予算実績
17. ガジプール県 Lotifpur URC 年間活動計画
18. URC 小学校訪問時のモニタリングフォーマット (和訳)
19. UEO 小学校訪問時のモニタリングフォーマット



1部制小学校標準週間時間割

	学年	9:30	1	2	3	4	1:15-1:45	5	6	7	8
		9:50	9:50-10:45	10:45-11:35	11:35-12-25	12:25-1:15		1:45-2:25	2:25-3:05	3:05-3:40	3:40-4:15
土	1	集合	ベンガル語	算数	英語	宗教	休	—	—	—	—
	2		ベンガル語	算数	英語	宗教		—	—	—	—
	3		英語	算数	ベンガル語	社会		理科	作文と書きかた (ベ語)	作文 (英語)	宗教
	4		ベンガル語	英語	算数	社会		理科	作文 (ベ語)	書きかた (ベ語)	宗教
	5		算数	ベンガル語	英語	社会		理科	手紙の書きかた (英語)	小論文 (英語)	宗教
日	1	集合	ベンガル語	算数	英語	宗教	休	—	—	—	—
	2		ベンガル語	算数	英語	宗教		—	—	—	—
	3		英語	算数	ベンガル語	社会		理科	聞き取り (ベ語)	書きかた (英語)	宗教
	4		ベンガル語	英語	算数	社会		理科	聞き取り (ベ語)	小論文 (ベ語)	宗教
	5		算数	ベンガル語	英語	社会		理科	聞き取り (ベ語)	作文 (英語)	宗教
月	1	集合	ベンガル語	算数	英語	図画工作	憩	—	—	—	—
	2		ベンガル語	算数	英語	図画工作		—	—	—	—
	3		英語	算数	ベンガル語	社会		理科	図画工作	手紙の書きかた (ベ語)	宗教
	4		ベンガル語	英語	算数	社会		理科	図画工作	手紙の書きかた (ベ語)	宗教
	5		算数	ベンガル語	英語	社会		理科	図画工作	作文 (英語)	宗教
火	1	体操	ベンガル語	算数	英語	図画工作	憩	—	—	—	—
	2		ベンガル語	算数	生活	図画工作		—	—	—	—
	3		英語	算数	ベンガル語	理科		社会	聞き取り (英語)	作文 (ベ語)	図画工作
	4		ベンガル語	英語	算数	理科		社会	聞き取り (英語)	手紙の書きかた (英語)	図画工作
	5		算数	ベンガル語	英語	理科		社会	聞き取り (英語)	作文と書きかた (ベ語)	図画工作
水	1	体操	ベンガル語	算数	生活	体育	憩	—	—	—	ベ語、英語、算数、社会、理科のいずれか1科目の再学習
	2		ベンガル語	算数	生活	体育		—	—	—	
	3		英語	算数	ベンガル語	理科		社会	音楽	詩の朗読	
	4		ベンガル語	英語	算数	理科		社会	音楽	物語の朗読と演技	
	5		算数	ベンガル語	英語	理科		社会	音楽	ディベート	
木	1	集合	9:50-10:35	10:35-11:15	11:15-11:55	11:55-12:30	12:30-1:00	1:00-1:35	1:35-2:10	2:10-2:30	教員会議／書類作成
	2		ベンガル語	算数	英語	書きかた	休憩	—	—	—	
	3		ベンガル語	算数	英語	書きかた		—	—		
	4		英語	算数	ベンガル語	理科		社会	書きかた (英語)		
	5		ベンガル語	英語	算数	理科		社会	書きかた (英語)		
5	算数	ベンガル語	英語	理科	社会	書きかた (英語)					

1. 1部制小学校標準週間時間割

(出所) DPE. 通達 No. O, M-7-school-Dakha/96/6786/64 (2000年10月12日発行)

## 2. 小学校 2003 年度学年末試験結果

### ガジプール県

#### 1. <Deshipara GPS> 2003 年度学年末試験結果（データ入手：2004 年 1 月 29 日）

##### ● 科目別・学年別の平均点（100 点満点）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科.	平均
3	57.1	46.3	60.0	48.9	34.3	49.3
4	45.5	37.6	52.1	58.3	47.0	48.1
5	49.8	40.8	30.9	41.0	45.2	41.5
平均	51.2	41.9	47.1	48.7	41.9	46.1

##### ● 科目別・学年別の不合格者数（／全生徒数）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科.	延べ合計
3	8/49	9/49	9/49	11/49	13/49	50/49
4	7/39	15/39	10/39	1/39	4/39	37/39
5	7/51	19/51	25/51	12/51	6/51	69/51
合計	22/139	43/139	44/139	24/139	23/139	156/139

#### 2. <Patshala RNGPS> 2003 年度学年末試験結果

##### ● 科目別・学年別の平均点（100 点満点）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科.	平均
3	61.0	57.5	60.8	60.3	55.9	59.1
4	66.5	60.6	61.4	68.5	51.2	61.6
5	54.0	55.6	51.0	55.2	70.7	57.3
平均	60.4	57.8	57.8	61.1	59.3	59.3

##### ● 科目別・学年別の不合格者数（／全生徒数）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科.	延べ合計
3	1/28	4/28	1/28	1/28	5/28	12/28
4	1/22	2/22	0/22	1/22	1/22	5/22
5	0/24	1/24	6/24	2/24	0/24	9/24
合計	2/74	7/74	7/74	4/74	6/74	26/74

マイメンシン県 Sadar 郡 Aqua クラスター

3. <Kalayan Pur RNGPS> 2003 年度学年末試験結果（データ入手：2004 年 2 月 8 日）

● 科目別・学年別の平均点（100 点満点）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科	平均
1	51.7	31.6	42.0	-	-	41.8
2	28.5	33.3	38.2	-	-	33.3
3	29.7	28.3	40.1	35.9	36.1	34.0
4	43.3	24.5	23.7	42.6	43.6	35.5
5	37.2	29.6	23.0	42.6	48.2	36.1
平均	39.1	30.3	36.5	39.5	41.4	36.4

● 科目別・学年別の不合格者数（／全生徒数）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科	延べ合計
1	11/82	39/82	18/82	-	-	68/82
2	29/59	29/59	18/59	-	-	76/59
3	25/49	23/49	13/49	19/49	19/49	99/49
4	6/27	19/27	21/27	4/27	5/27	55/27
5	9/29	20/29	20/29	6/29	3/29	58/29
合計	80/246	130/246	90/246	29/246	27/246	356/246

（注 1）各科目とも 33 点以上が合格最低ライン。本校では 33 点未満の科目が 2 つ以内であれば進級を認めている。ただし、2 科目以上で留年という学校もあり、このあたりは各校で弾力的に対応している。

（注 2）1～2 年生の実際の英語の最終評価は 50 点満点で、16 点以下が不合格、17 点以上が合格である。しかし、他の科目（ベンガル語と英語）が 100 点満点であることから、バランスを取るために raw data を 2 倍にして算出した数値を上表に入れた。

<メモ>

- 本校（全校生徒 246 人）に限定していえば、英語の平均点は 33 点未満。全学年を通じて極めて深刻。
- 算数は 4 年生、5 年生では英語以上に深刻。4 年生の算数では 27 人中 21 人が不合格、5 年生の算数では 29 人中 20 人が不合格。
- 理科の成績は学年が上がるにつれて上昇している。

マイメンシン県 Sadar 郡 Aqua クラスター

4. <Kismat GPS> 2003 年度学年末試験結果（データ入手：2004 年 3 月 3 日）

● 科目別・学年別の平均点（100 点満点）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科.	平均
3	47.7	48.4	42.4	49.4	55.3	48.6
4	55.9	50.9	51.1	54.1	52.2	52.8
5	47.1	54.0	51.7	64.0	52.9	53.9
平均	50.6	50.9	48.1	55.1	53.5	51.6

● 科目別・学年別の不合格者数（／全生徒数）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科.	延べ合計
3	8/77	7/77	12/77	8/77	6/77	41/77
4	2/80	0/80	2/80	3/80	6/80	13/80
5	2/58	1/58	1/58	2/58	3/58	9/58
合計	12/215	8/215	15/215	13/215	15/215	63/215

（注1）各科目とも 33 点以上が合格最低ライン。本校では 2 回の学期中試験と最終の得点を合計し、それを 3（＝3 回の試験）で割り、33%以上の得点であれば進級を認めている。

（注2）本校の学校ランク（5-7、5-8 頁参照）は B である。

マイメンシン県 Sadar 郡

5. <Baghmara GPS> 2003 年度学年末試験結果（データ入手：2004 年 3 月 3 日）

● 科目別・学年別の平均点（100 点満点）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科.	平均
3	53.8	48.2	46.2	55.6	56.1	52.0
4	50.3	44.0	42.4	46.2	49.5	46.5
5	46.2	36.0	39.3	48.8	43.9	42.8
平均	50.5	43.4	43.0	50.6	50.5	47.6

● 科目別・学年別の不合格者数（／全生徒数）

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科.	延べ合計
3	14/89	17/89	23/89	8/89	10/89	72/89
4	11/77	19/77	21/77	16/77	9/77	76/77
5	2/63	17/63	17/63	4/63	8/63	48/63
合計	27/229	53/229	61/229	28/229	27/229	196/229

（注1）各科目とも 33 点以上が合格最低ライン。この学校では 33 点未満の科目が 1 つだけであれば進級を認めている。ただし、2 科目あれば留年。

（注2）本校の学校ランク（5-7、5-8 頁参照）は A である。

マイメンシン県 Haluaghat 郡 Gati クラスター

6. <Jainaty GPS> 2003 年度学年末試験結果 (データ入手 : 2004 年 3 月 7 日)

● 科目別・学年別の平均点 (100 点満点)

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科	平均
3	40.1	52.2	60.2	38.8	47.5	47.8
4	52.1	43.8	23.6	62.7	39.6	44.3
5	50.2	51.6	34.3	53.4	67.2	51.4
平均	46.6	49.0	41.4	50.6	48.4	47.2

● 科目別・学年別の不合格者数 (／全生徒数)

学年	ベンガル語	英語	算数	社会	理科	延べ合計
3	18/55	6/55	5/55	19/55	11/55	59/55
4	7/48	11/48	35/48	1/48	8/48	62/48
5	2/25	5/25	15/25	0/25	0/25	22/25
合計	27/128	22/128	55/128	20/128	19/128	143/128

3. 1997年初等大衆教育局通達 References No. PMED/admin-4/4 d -1/97/796

Primary and Mass Education Division  
Bangladesh Secretariat  
Dhaka

Reference No. PMED/admin-4/4d-1/97/796 (1997年10月22日 PMED 発行)

本通達はすべての GPS と RNGPS を A、B、C、D に区分するものである。これによって学校の真実の姿を把握し、ランクが悪ければそれを向上させる努力をすることができる。各項目 10 点満点で、合計 100 点満点で評価する。

<客観評価項目> (50 点)

1. 就学率 (Rate of enrollment)
  - a. 91 – 100% 10 点
  - b. 81 – 90% 7 点
  - c. 71 – 80% 5 点
  - d. 70%未満 2 点
2. 生徒の出席率 (Rate of attendance of students)
  - a. 91%以上 10 点
  - b. 80%以上 7 点
  - c. 65%以上 5 点
  - d. 65%未満 2 点
3. 落第率 (Rate of dropout)
  - a. 10%以下 10 点
  - b. 20%以下 7 点
  - c. 30%以下 5 点
  - d. 40%以下 2 点
4. 学校運営委員会 (School Management Committee: SMC) の活性度
  - a. 会合数が年 12 回以上 10 点
  - b. 会合数が年 8 – 11 回 8 点
  - c. 会合数が年 3 – 7 回 6 点
  - d. 会合数が年 1 – 2 回 2 点
  - e. 会合回数が年 0 回 0 点
5. 奨学金試験における優秀度 (Success in Scholarship examination)
  - a. 奨学金獲得者が 4 人以上 10 点
  - b. 奨学金獲得者が 1 – 3 人 8 点  
奨学金獲得者は 0 人だが :
  - c. 合格率が 50%以上 4 点
  - d. 合格率が 50%未満 2 点
  - e. 合格率が 25%未満 0 点

<主観評価項目> (50 点)

6. 教員の出席率、時間の遵守、責任感、意欲 (10 点)
7. 校舎と校庭の整備状況、花壇、野菜畑、井戸の有無、トイレの清潔さ (10 点)
8. 教員と保護者の会合の数 (10 点)
9. 課外活動、生徒の身だしなみと礼儀正しさ (10 点)
10. 記録・文書の保管状況 (出席簿、教員ガイド、教科書、時間割、年間活動計画とモニタリング、黒板の使用度など) (10 点)



<学校区分（ランク）>

- A …… 合計 80 点以上
- B …… 合計 60 点以上
- C …… 合計 40 点以上
- D …… 合計 40 点未満

<特記事項>

1. 各校は 2 番（出席率）で少なくとも 4 点以上はとらなければならない。
2. 各校は 5 番で（奨学金試験における優秀度）で少なくとも 4 点以上はとらなければならない。
3. 各校は 6 番で少なくとも 6 点以上はとらなければならない。
4. 各校は 10 番で少なくとも 4 点以上はとらなければならない。

本評価は2 年ごとに 1 月から 3 月にかけて実施する。また本評価は郡教育委員会が UEO の支援を受けて実施する。

Joint Secretary (admin)

1997 年 10 月 22 日

Senior Additional Secretary (admin-4)

1997 年 10 月 22 日

-----  
(注) 2000 年 3 月 12 日付けで DPE の DG が本通達を引用し、2000 年 6 月までに C の学校は B へ、D の学校は C へランクが上がるよう努力すべきとの文書が各県 DEO に対して発出されている。

マイメンシン県小学校ランク付け表

	郡 (Upazila)	学校タイプ		1998-1999									2002-2003								
				GPS				RNGPS				閉校	GPS				RNGPS				閉校
		GPS	RNGPS	A	B	C	D	A	B	C	D		A	B	C	D	A	B	C	D	
1	Sadar	132	26	26	71	33	2	1	10	13	2		28	103	1	0	1	21	4	0	
2	Mukttagacha	101	43	34	63	4	0	4	26	13	0		35	66	0	0	1	34	8	0	
3	Trishal	120	42	29	72	19	0	4	18	19	1		33	87	0	0	4	36	2	0	
4	Bhaluka	98	33	30	59	5	0	0	29	4	0		42	51	1	0	2	30	1	0	
5	Gaffargaon	160	38	5	79	69	7	-	-	-	-		21	96	42	1	0	7	31	0	
6	Nandail	115	51	17	44	54	0	0	2	35	14		19	77	19	0	0	13	38	0	
7	Ishwargang	92	30	13	45	34	0	0	5	13	12		16	70	6	0	1	12	18	0	
8	Haluaghat	65	81	4	36	18	7	0	6	34	41	1	6	52	7	0	0	47	33	0	1
9	Gauripur	90	69	27	32	19	12	12	18	25	14		35	39	16	0	10	22	37	0	
10	Phulbari	104	62	21	75	8	0	1	26	35	0		41	33	0	0	4	58	0	0	
11	Phulpur	133	94	8	112	13	0	0	32	54	8		39	90	4	0	2	51	41	0	
12	Dhobaura	43	39	2	7	21	13	0	0	16	22	1	2	13	28	0	0	0	38	0	1
		1,249	609	216	695	297	41	22	172	261	114		317	807	124	1	25	331	251	0	

(出所) マイメンシン県初等教育事務所 (DPEO) 資料

5. NAPE 2002-03 年度研修実績、2003-04 年度研修及び活動計画

NAPE で実施された研修コースと受講者数  
2002-2003 年度実績（歳入予算）

	研修コース	受講者 (参加者)	期間	受講者数(人)			備考
				男性	女性	合計	
1	運営管理および(C-in-Ed)研修に関する研修	PTI 校長	5 日	31	6	27	2グループ
2	運営および規律に関する研修	DPEO	4 日	47	1	48	2グループ
3	運営および財務に関するリフレッシュ研修	UEO	5 日	41	6	47	2グループ
4	学校運営と授業内容を向上させるための研修	AUEO	5 日	76	4	80	2グループ
5	図画工作の研修	PTI 教員	6 日	22	4	26	2グループ
6	体育の研修	PTI 教員	6 日	30	3	33	2グループ
7	学校運営と授業内容を向上させるための研修	実験校教員	6 日	39	15	54	3グループ
8	図書館運営のための研修	PTI のアシスタント図書館員	6 日	33	7	40	2グループ
9	初等教育の実施に関する地域 (Regional) 研修		3 日	265	188	453	10グループ
10	研究セミナー		2 日	36	25	61	-
合 計				620	259	879	

(出所) NAPE 資料

(注) 総費用 1,071,883.18 タカ

NAPE で実施された研修コースと受講者数  
2002-2003 年度実績（開発予算）

	研修コース	受講者 (参加者)	期 間	受講者数 (人)			備考
				男 性	女 性	合 計	
1	C-in-Ed カリキュラム改訂のための事前ワークショップ (科目別)		2 日	82	27	197	16 科目の執筆者と各レベルの学識者
2	C-in-Ed カリキュラム改訂のための研修 (科目別)		6 日	529	210	739	各科目 2 グループ / PTI 校長 2 グループ
3	導入研修 (Foundation Training)	UEO	1 ヶ 月	78	16	94	第 4 回、第 5 回
4	導入研修 (Foundation Training)	AUEO	1 ヶ 月	76	36	112	第 5～8 回
5	導入研修 (Foundation Training)	UEC Instructor および AUEO	2 週 間	108	23	131	第 1～4 回
6	モニタリングと評価に関する研修のための事前ワークショップ (第 2 回)	PTI 教員	3 日	8	1	9	
7	モニタリングと評価に関する研修のための特別ワークショップ (第 2 回)	PTI 教員	5 日	3	1	4	
8	モニタリングと評価に関する研修 (第 2 回)	PTI 教員	6 日	236	81	317	17 グループ
9	NAPE と LINS の支援による理科の研修のための事前ワークショップ (第 2 回)	PTI 教員	3 日	4	-	4	
10	NAPE と LINS の支援による理科の研修 (第 2 回)	PTI 教員	5 日	30	12	42	
11	NAPE と LINS の支援による英語の研修のための事前ワークショップ (第 2 回)	PTI 教員	3 日	3	-	3	
12	NAPE と LINS の支援による英語の研修 (第 2 回)	PTI 教員	5 日	42	13	55	
13	NAPE と LINS の支援による算数の研修 (第 2 回)	PTI 教員	5 日	13	2	15	
14	NAPE と LINS の支援による NORAD のプロジェクトの英語、算数、理科の研修後フォローアップ・ワークショップ	PTI 教員	3 日	5	3	8	
15	NAPE と LINS の支援による NORAD のプロジェクトのフォローアップ活動のための事前ワークショップ		3 日	9	5	14	
16	NAPE と LINS の支援によるフォローアップ活動のワークショップ		2 日	5	3	8	
17	TESL 研修のための事前ワークショップ	PTI 教員	3 日	4	1	5	
18	TESL 研修	PTI 教員	5 日	45	8	53	
19	C-in-Ed Board の規則を改定するためのワークショップ		2 日	14	3	17	
20	C-in-Ed の教科書の誤りを訂正するためのワークショップ		2 日	39	7	46	
合 計				1,333	452	1,785	

(出所) NAPE. 2003 年. 年間活動計画 2003-2004

(注 1) 総費用 6,000,051.92 タカ

(注 2) LINS は Oslo University College, Faculty of Education の略語

(注 3) TESL は Teaching English as a Second Language の略語

NAPE 年間研修計画（歳入予算）2003-2004 会計年度

コード No.	研修コース	受講者	期間	グル ープ 数	受講者数 (人)	総費用 (タカ)	1人当 たりの費用
Ra-1	学校運営管理研修	PTI 校長	5 日	2	27x2=54	56,830x2 =113,660	2,105
Ra-2	初等教育の問題と対処策に ついてのワークショップ	DPEO	2 日	2	32x2=64	55,640x2 =111,280	1,739
Ra-3	基礎リフレッシュ研修	UEO	5 日	4	30x4=120	64,900x4 =259,600	2,163
Ra-4	科目別研修（社会科）	PTI 教員	6 日	2	27x2=54	60,290x2 =120,580	2,233
Ra-5	科目別研修（ベンガル語、 英語、算数）	AUEO	5 日	4	35x4=140	59,820x4 =239,280	1,709
Ra-6	運営規則と科目別研修（理 科）	実験校教員	5 日	2	27x2=54	59,440x2 =118,880	2,201
合 計					486	963,280	1,982

(出所) NAPE. 2003 年. 年間活動計画 2003-2004

NAPE 年間研修計画（開発予算）2003-2004 会計年度

コード No.	研修コース	受講者 (参加者)	期間	グル ープ 数	受講者数 (人)	総費用 (タカ)	1人当 たりの費用
U-1	導入研修 (Foundation Training)	PTI 教員	2 ヶ月	3	40x3=120	761,050x3 =2,283,150	19,026
U-2	Academic Supervision 研修	AUEO	5 日	8	40x8=320	118,500x8 =948,000	2,963
U-3	教育管理研修	PTI 校長	5 日	2	27x2=54	89,250x2 =178,500	3,306
U-4	NAPE と PTI との共同 研究	NAPE スタッフ、 PTI 教員	1 年	18 個	18x6=108	100,000x18 =1,800,000	16,667
U-5	コンピュータ研修	NAPE の Dept. スタッフ	2 週間	2	27x2=54	128,875x2 =257,750	4,773
U-6	体育と演技の研修	PTI 教員	6 日	2	27x2=54	178,720x2 =357,440	6,619
U-7	音楽の研修	PTI 教員	6 日	2	27x2=54	178,720x2 =357,440	6,619
U-8	C-in-Ed 研修	小学校の B.Ed および M.Ed の保有教員	2 ヶ月	1	40	585,500	14,637
合 計					804	6,767,780	8,418

(出所) NAPE. 2003 年. 年間活動計画 2003-2004

NAPE 年間活動計画（歳入予算）2003-2004 会計年度

コード No.	研修コース	期間	責任者/ 委員会	総費用 (タカ)	1人当 たりの費用
RaB-1	モニタリング、評価およびフォローアップ活動 (PTI の C-in-Ed、サブクラスター研修、UEO、モデル小学校)	1 年間	監督およびモニタリング委員会	130,000	1,000
RaB-2	C-in-Ed 活動	1 年間	試験監督官, C-in-Ed 事務局	2,700,000	922
RaB-3	初等教育の普及および意識向上に関する地域 (Regional) 研修	1 年間	Dept.メンバー	42,388.57x7 =296,720	922
RaB-4	研究活動 2つ	1 年間	Dept.メンバー	60,000	
RaB-5	研究ワークショップ	2004 年 6 月	研究委員会	80,000	1,666
RaB-6	初等教育情報の提供と研修書籍の出版	2003 年 12 月 および 2004 年 6 月	出版委員会	70,000	
合 計				3,336,720	

(出所) NAPE. 2003 年. 年間活動計画 2003-2004

PTI標準時間割・午前の部（2003年5月NAPE作成）

	体操	休憩	集合	1	2	3	4	休憩	5	6	7	8
	6:30-7:00	7:00-7:30	7:30-7:45	7:45-8:25	8:25-9:05	9:05-9:45	9:45-10:25	10:25-10:40	10:40-11:20	11:20-11:55	11:55-12:30	12:30-1:30
土	体操	休憩	集合	③	⑤	⑥	ベンガル語	休憩	算数	社会	理科	図書活動
日	体操	休憩	集合	③	⑤	ベンガル語	英語	休憩	算数	図工		図書活動
月	体操	休憩	集合	①	④	ベンガル語	英語	休憩	理科	体育	宗教	図書活動
火	体操	休憩	集合	①	④	英語	理科	休憩	宗教	社会	算数	図書活動
水	体操	休憩	集合	②	⑥	ベンガル語	理科	休憩	社会	文芸活動		図書活動
木	6:30-7:15	7:15-7:45	7:45-8:00	8:00-8:40	8:40-9:20	9:20-10:00	10:00-10:40	10:40-11:20	—	—	—	—
	社会福祉活動	社会福祉活動	集合	②	英語	社会	算数	音楽	—	—	—	—

PTI標準時間割・午後の部（2003年5月NAPE作成）

	集合	1	2	3	休憩	4	5	6	7	休憩	8	体操
	11:00-11:30	11:30-12:30	12:30-1:10	1:10-1:50	1:50-2:10	2:10-2:50	2:50-3:30	3:30-4:10	4:10-4:50	4:50-5:05	5:05-5:40	5:40-6:10
土	集合	図書館の利用	③	⑤	休憩	⑥	理科	ベンガル語	算数	休憩	宗教	体操
日	集合	図書館の利用	③	⑤	休憩	ベンガル語	理科	英語	算数	休憩	社会	社会福祉活動
月	集合	図書館の利用	①	④	休憩	ベンガル語	社会	算数	図工	休憩	図工	体操
火	集合	図書館の利用	①	④	休憩	英語	社会	理科	文芸活動	休憩	文芸活動	体操
水	集合	図書館の利用	②	英語	休憩	社会	算数	宗教	理科	休憩	体育	体操
木	11:00-11:15	11:15-11:55	11:55-12:35	12:35-1:10	1:10-1:50	1:50-2:30	2:30-3:10	—	—	—	—	—
	集合	②	⑥	休憩	ベンガル語	英語	音楽	—	—	—	—	—

(注) 番号で表した科目の正式名称は以下のとおり。

①初等教育入門、②初等教育の重要性、③バングラデシュの初等教育における法規、技術、知識、④児童心理学、⑤学習と教育、⑥学習と人格形成

マイメンシン県 PTI 時間割 (2003 年 午前の部)

	朝礼	休憩	集合	1	2	3	4	休憩	5	6	7
	6:45-7:15	7:15-7:45	7:45-8:00	8:00-8:35	8:35-9:10	9:10-9:45	9:45-10:20	10:20-10:35	10:35-11:10	11:10-11:45	11:45-12:15
土	朝礼	休憩	集合	A ① B 理科 C ③	A 理科 B ① C ベンガル語	A ④ B ベンガル語 C 英語	A 算数 B 英語 C ④	休憩	A 社会 B ④ C 算数	A 図画 B 算数 C ②	A 工作 B ② C 社会
日	朝礼	休憩	集合	A 理科 B 社会 C ベンガル語	A ベンガル語 B 算数 C 社会	A 体育 B ④ C 算数	A ④ B 理科 C ①	休憩	A 理科 B ① C ④	A ③ B ② C 体育	宗教
月	朝礼	休憩	集合	A ③ B (記載なし) C 算数	A 算数 B (記載なし) C ⑥	A ① B 社会 C 理科	A 英語 B ベンガル語 C ①	休憩	A ベンガル語 B 図画工作 C 社会	A 社会 B 図画工作 C ②	農業実習
火	朝礼	休憩	集合	A ② B ⑤ C ベンガル語	A ベンガル語 B 理科 C ⑤	A 算数 B 英語 C ③	A 英語 B 算数 C ⑥	休憩	A ⑥ B ③ C 英語	文芸活動	
水	朝礼	休憩	集合	A ⑥ B 算数 C 社会	A 算数 B ⑥ C ⑤	A ⑤ B 社会 C 理科	A 社会 B 体育 C 英語	休憩	A 英語 B ベンガル語 C 図画	A ベンガル語 B 英語 C 工作	宗教
木	社会的活動	休憩	集合	A ② B ⑤ C 理科	A ⑤ B 社会 C 英語	A 英語 B ベンガル語 C 算数	A 社会 B 英語 C ベンガル語				

7. マイメンシン県 PTI 週間時間割

マイメンシン県 PTI 時間割 (2003 年 午後の部)

	1	2	休憩	3	4	5	6	7	8
	12:30-1:10	1:10-1:45	1:45-2:20	2:20-2:55	2:55-3:30	3:30-4:05	4:05-4:40	4:40-5:15	5:15-6:00
土	A 体育 B 算数	A ベンガル語 B 社会	休憩	A 宗教 B ④	A ④ B 理科	A 理科 B ②	A ② B ①	A ③ B 宗教	体操
日	A ① B 理科	A 理科 B ①	休憩	A ④ B ②	A 社会 B 英語	A 英語 B ④	A 図画工作 B 算数	A 図画工作 B ベンガル語	体操
月	A 理科 B ⑤	A ④ B 理科	休憩	A 社会 B 英語	A 算数 B 社会	A ベンガル語 B 算数	文芸活動		体操
火	A ③ B ⑥	A 算数 B ③	休憩	A ① B ベンガル語	A ベンガル語 B 社会	A 英語 B 図画工作	A 社会 B 図画工作	体操	体操
水	A ⑥ B 算数	A 算数 B 宗教	休憩	A ⑤ B 社会	A 社会 B 体育	A 英語 B ベンガル語	A 宗教 B 英語	A ベンガル語 B ⑥	社会的活動
木	A ② B ⑤	A ⑤ B ③	休憩	A 英語 B ベンガル語	A 算数 B 英語	音楽			

(注) 番号で表した科目の正式名称は以下のとおり。

- ①初等教育入門、②初等教育の重要性、③バングラデシュの初等教育における法規、技術、知識、④児童心理学、⑤学習と教育、⑥学習と人格形成



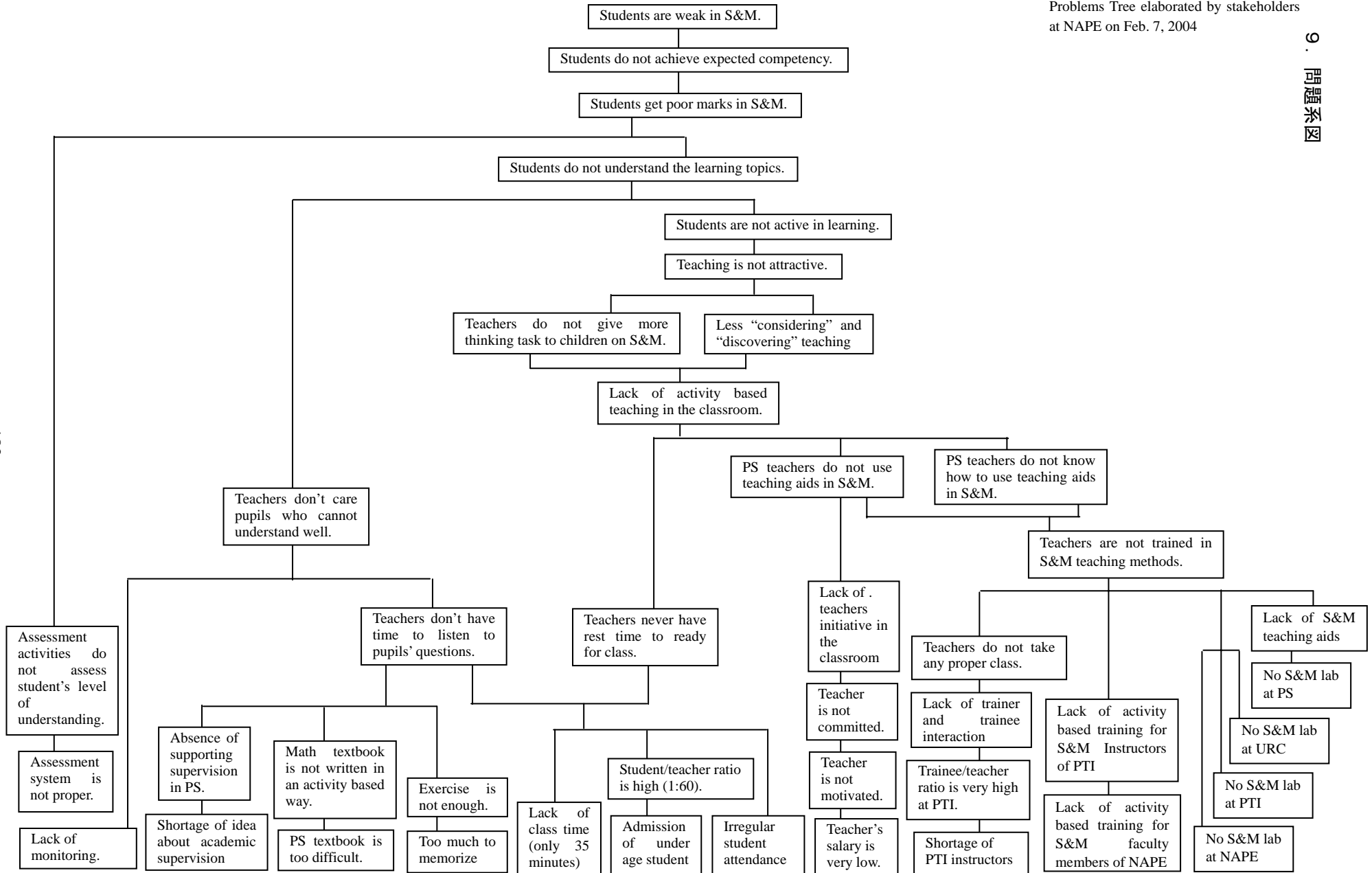
8. C-in-Ed 研修科目

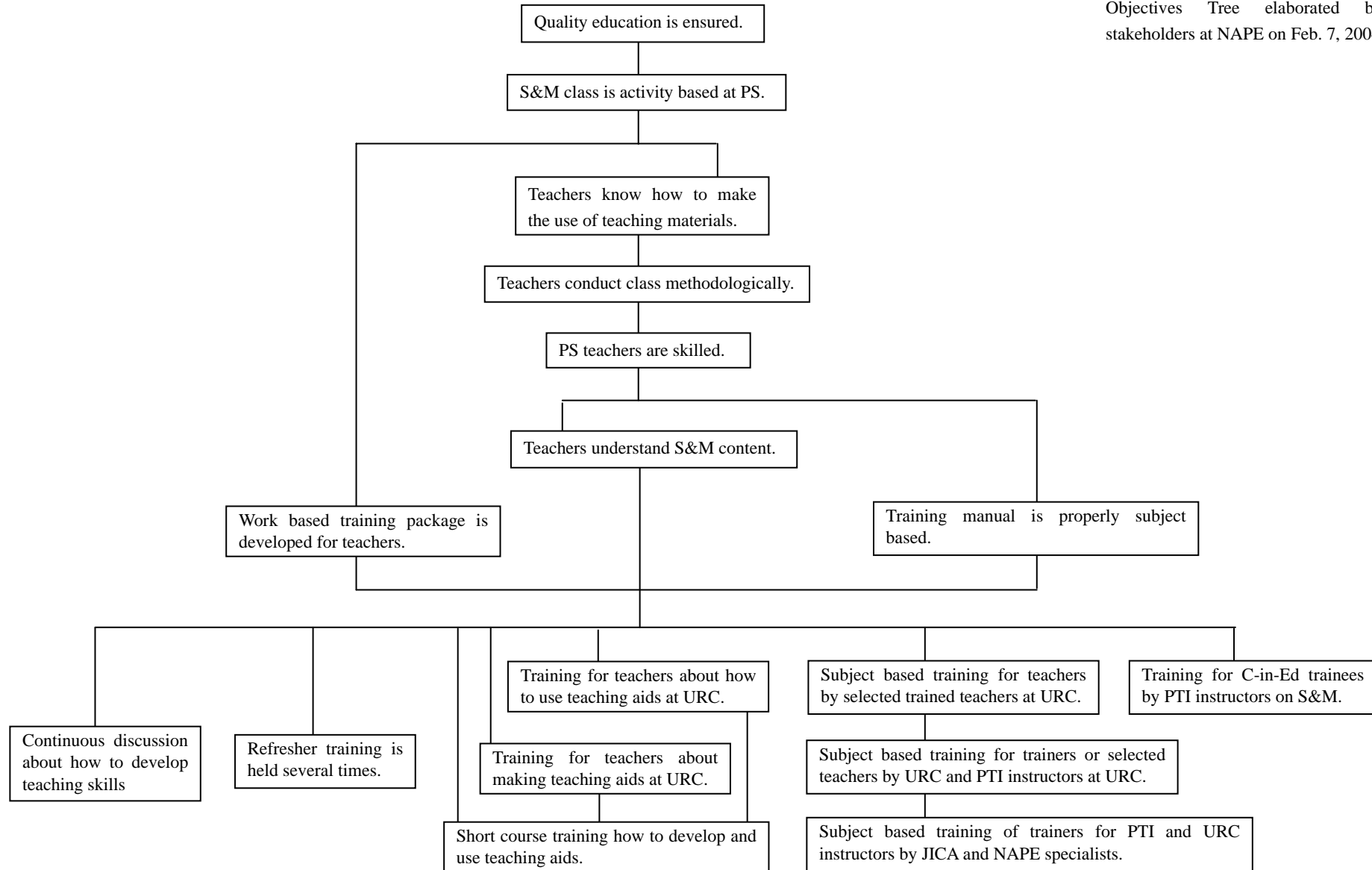
C-in-Ed 研修科目

区分	No.	教科	理論	実技	合計
教養科目	1	初等教育入門	50		50
	2	初等教育の重要性	50		50
	3	バングラデシュの初等教育における法規、技術、組織	50		50
	4	児童心理学	40	10	50
	5	学習と教育	50		50
	6	学習と人格形成	50		50
	小 計			290	10
個別科目	1	ベンガル語	80	20	100
	2	英語	80	20	100
	3	算数	80	20	100
	4	社会	80	20	100
	5	理科	80	20	100
	6	宗教	50		50
	7	体育	20		20
	8	図画工作		15	15
	9	音楽		15	15
	小 計			470	130
実習	a	教授法		100	100
	b	授業計画立案		25	25
	c	教材		25	25
	d	コミュニケーションスキル		25	25
	e	生徒の受け止めかた		25	25
	小 計				200
課外活動	a	社交・文化活動		15	15
	b	社会的貢献		10	10
	c	文芸活動		10	10
	d	図書館の利用		20	20
	e	運動		25	25
	f	行動、対人関係		20	20
	小 計				100
合 計			760	440	1200

(出所) NAPE および BCEB, 2003 年 6 月. C-in-Ed 実施要領

(注) 網掛け部分は NAPE 作成の教科書がある科目。





11. PDM (Second Draft)

PDM (Second Draft)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	
<p><b>【Super Goal】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Primary school access, participation and completion is improved across the country.</li> <li>- The quality of pupil learning and performance outcomes (i.e. achievement) are improved across the country.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Number of enrolled pupils</li> <li>- Enrollment rate</li> <li>- Completion rate</li> <li>- Pupil learning and performance outcomes (i.e. achievement)</li> </ul>	
<p><b>【Overall Goal】</b></p> <p>The pupil attainment of S&amp;M in primary education is improved in the target area.</p>	<p>Number and rate of successful students S&amp;M in the target area</p>	
<p><b>【Project Purpose】</b></p> <p>Teaching in S&amp;M is improved in real settings below in the target area.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- NAPE</li> <li>- PTI</li> <li>- URC and UEO</li> <li>- The Project pilot schools</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. The degree of improvement of teaching in S&amp;M in real settings below. <ul style="list-style-type: none"> <li>- NAPE</li> <li>- PTI</li> <li>- URC and UEO</li> <li>- The Project pilot schools</li> </ul> </li> <li>2. The degree of improvement of understanding, scores and attitudes of trainees and pupils below. <ol style="list-style-type: none"> <li>2-1. PTI (before and after / in comparison with other PTIs)</li> <li>2-2. The Project pilot schools (before and after / in comparison with other schools)</li> </ol> </li> </ol>	
<p><b>【Outputs】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. The teaching ability in S&amp;M and collegial relationship is improved at NAPE, PTI, URC, UEO and the Project pilot schools.</li> <li>2. S&amp;M trainings are properly conducted at NAPE, URC and UEO.</li> <li>3. The appropriate curriculum and valid assessment are recommended (the C-in-Ed exam. at PTI and cluster exams. at the Project pilot schools).</li> <li>4. The relationship between NAPE, PTI, URC, UEO and schools is strengthened.</li> <li>5. Teaching packages are authorized at the central level (MOMPE, DPE and NCTB).</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. The degree of improvement of the teaching ability in S&amp;M at NAPE, PTI, URC, UEO and the Project pilot schools.</li> <li>2. Number of trainings, duration of each training, and number of participants</li> <li>3. Appropriateness and validity of recommended curriculum and assessment <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1. C-in-Ed. at PTI</li> <li>3-2. Grading policy at the Project pilot schools</li> </ol> </li> <li>4. Number of workshops and the content of discussions held at NAPE</li> <li>5. Number and types of authorized teaching packages</li> </ol>	
<p><b>【Activities】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. To operationalize quality teaching cycle of planning, practice and reflection in S&amp;M at NAPE, PTI, URC, UEO and the Project pilot schools in order to improve classroom lessons for pupils.</li> <li>1-2. To develop the educational database in consideration for coverage, accuracy, reliability, utility and user-friendliness.</li> <li>2. To improve S&amp;M trainings conducted by NAPE, URC and UEO.</li> <li>3. To analyze the current S&amp;M curriculum and assessment (the C-in-Ed exam. at PTI and cluster exams. at the Project pilot schools).</li> <li>4. To hold regular study workshops together with DPE, NAPE, PTI, URC, UEO and the Project pilot schools.</li> <li>5-1. To develop teaching packages that engage students in heuristic and problem-solving learning.</li> <li>5-2. To report the Project activities in PEDP II Annual Review/Thematic Review</li> <li>5-3. To report the Project activities in the NAPE newsletter.</li> </ol>	<p><b>【Inputs】</b></p> <p>&lt;Japanese side&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>Experts</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Long-term Experts (4) <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Chief Advisor (1)</li> <li>2. Science Education (1)</li> <li>3. Mathematics Education (1)</li> <li>4. Coordinator (1)</li> </ol> </li> <li>■ Short-term Experts <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Education Evaluation</li> <li>2. Science Education</li> <li>3. Mathematics Education</li> <li>4. Database Development</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>2. <u>JOCVs</u></li> <li>3. <u>Counterpart training in Japan</u></li> <li>4. <u>Equipment and local cost</u></li> </ol>	<p>&lt;Bangladesh side&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>Counterparts</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>- DPE</li> <li>- NAPE</li> <li>- PTI</li> <li>- URC and UEO</li> <li>- The Project pilot schools</li> </ul> </li> <li>2. <u>Project offices and facilities at DPE and NAPE</u></li> <li>3. <u>Running cost</u></li> <li>4. <u>Expenses for seminars and workshop at NAPE</u></li> </ol>

Means of Verification	Important Assumptions
<ul style="list-style-type: none"> <li>- National statistics</li> <li>- Results of examinations</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- The policy that gives priority to the educational sector is not changed by the Bangladesh government.</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>- Results of examinations</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- The policy that gives priority to EFA is not changed by the Bangladesh government.</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1-1. Records of training and lesson observations</li> <li>1-2. Questionnaires for trainees and pupils</li> <li>2-1. Records of PTI trainees in terms of understanding, scores and attitudes</li> <li>2-2. Records of pupils in terms of understanding, scores and attitudes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- The teacher-pupil ratio is not drastically increased at the primary schools in the target area.</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1-1. Records of planning</li> <li>1-2. Records of practice</li> <li>1-3. Records of reflection (introspective activities)</li> <li>2. Records of trainings</li> <li>3. Reports including recommendations</li> <li>4. Records of workshops and discussions including proceedings</li> <li>5. Teaching packages</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- The instructor or trainer-trainee ratio is not drastically increased at NAPE, PTI, URC and UEO.</li> <li>- The teacher-pupil ratio is not drastically increased at the Project pilot schools.</li> </ul>
<p><b>【Inputs】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- The necessary budget for PEDP II is duly financed by the donors and the Bangladesh government.</li> <li>- DPE continues to be supportive to the Project.</li> <li>- NAPE continues to take the initiative in holding trainings.</li> <li>- Specialists and assistant specialists in S&amp;M continue to work at NAPE and/or their posts are not vacant at all times.</li> <li>- Instructors in S&amp;M continue to work at PTI and/or their posts are not vacant at all times.</li> <li>- Teachers in S&amp;M continue to work at the Project pilot schools and/or their posts are not vacant at all times.</li> </ul>
	<p><b>【Pre-conditions】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- This Project is consistent with PEDP II.</li> </ul>

活動計画 (Plan of Operation)

Activities	2004-2005				2005-2006				2006-2007				2007-2008				2008-2009			
	Jul Sep	Oct ec	Jan Mar	Apr Jun	Jul Sep	Oct Dec	Jan Mar	Apr Jun	Jul Sep	Oct Dec	Jan Mar	Apr Jun	Jul Sep	Oct Dec	Jan Mar	Apr Jun	Jul Sep	Oct Dec	Jan Mar	Apr Jun
1-1. To operationalize quality teaching cycle of planning, practice and reflection in S&M at NAPE, PTI, URC, UEO and the Project pilot schools in order to improve classroom lessons for pupils																				
1-1-1. To conduct the baseline survey on a teaching cycle at all the institutions above	■	■																		
1-1-2. To select the Project pilot schools		■																		
1-1-3. To conduct lesson study involving all the institutions above, that is to form a study group and to develop exemplary lessons through collaborative work and discussion																				
1-2. To develop the educational database in consideration for coverage, accuracy, reliability, utility and user-friendliness																				
1-2-1. To design the database			■	■																
1-2-2. To do data collection, entry and analysis					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1-2-3. To do data integration							■				■				■				■	■
2. To improve S&M trainings conducted by NAPE, URC and UEO																				
2-1. To conduct the baseline survey on trainings at NAPE, URC and UEO	■	■																		
2-2. To design revised (or renewed or improved) trainings at NAPE, URC and UEO			■	■																
2-3. To implement the revised trainings at NAPE, URC and UEO on a trial basis																				
3. To analyze the current S&M curriculum and assessment (the C-in-Ed exam. at PTI and cluster exams. at the Project pilot schools)																				
3-1. To analyze the current S&M curriculum and assessment at PTI	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
3-2. To analyze the current S&M curriculum and assessment at the Project pilot schools		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
3-3. To prepare recommendations										■										■
4. To hold regular study workshops together with DPE, NAPE, PTI, URC, UEO and the Project pilot schools																				
4-1. To conduct the baseline survey on workshops held at NAPE	■																			
4-2. To hold study workshops		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
5-1. To develop teaching packages that engage students in heuristic and problem-solving learning																				
5-1-1. To conduct baseline survey on the existing teaching materials and packages	■	■																		
5-1-2. To develop and revise teaching packages			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
5-1-3. To use teaching packages on a trial basis							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
5-1-4. To verify the effectiveness of teaching packages																				■
5-1-5. To finalize teaching packages																				■
5-2. To report the Project activities in PEDP II Annual Review/Thematic Review				■		■		■		■		■		■		■		■		■
5-3. To report the Project activities in the NAPE newsletter	■		■		■		■		■		■		■		■		■		■	

### 13. Organization of NAPE Faculty into Development

#### Organization of NAPE Faculty into Department

Name of the Department	Name of the Faculty Members
Management & Planning	Mrs. Nasima Khan (S) Mrs. Kawsar Sabia (S)
Language	Dr. Gopika Ranjan Chakraborty (S) Mrs. Monoara Begum Mr. Md. Anwarul Karim
Social Studies	Ms. Rokeya Begam (S) Mrs. Dipti Devi Mr. Mazumder Paritosh Kumar
Science and Math	Mr. Md. Abdul Wahab (S) Mr. Shamsuddin Ahmed Mr. S. M. Mofizur Rahman Mr. Md. Mazharul Haque Mr. Md. Abdul Jalil
Research & Curriculum Development	Mr. Mohiuddin Ahmed Talukder (S) Mr. Md. Abdur Rahman (S) Mr. Md. Rabiul Islam
Evaluation and Testing	Mr. Md. Mustaeen Billah (Deputy Director) Mr. Joynul Abedin Mr. Rangolal Roy Ms. Bithi Sarker
Monitoring & Supervision	Mr. A.H.M. Mohiuddin (S) Mrs. Ayesha Akter Khatun Mr. Md. Farid Hossain Mrs. Dilruba Parvin

(出所) NAPE 資料 (2003 年 7 月 23 日付け)

(注) (S) は専門官 (Specialist) 表す。その他、カッコのない者は準専門官 (Assistant Specialist) である。

## 14. NAPE 2002-03 年度予算執行実績

## NAPE 2002-03 年度予算執行実績

## ● 歳入予算 (単位: タカ)

番号	コード番号	費 目	金額
1	4501	上級職員 (Officer) 給与	2,490,000
2	4601	一般職員給与	1,260,000
		小計	3,750,000
	4700-手当		
3	4705	住居手当	785,000
4	4709	遊興費	95,000
5	4713	祭事費	590,000
6	4717	医療費	213,000
7	4755	紅茶、軽食代	36,000
8	4725	清掃費	5,000
		小計	1,724,000
	4800-配給とサービス		
	4801	旅費 (Director)	18,000
9	4801	旅費 (その他スタッフ)	12,000
	4801	一般職員	10,000
10	4810	市税	70,000
11	4811	固定資産税	10,000
12	4815	郵便代	10,000
13	4816	通信費	90,000
14	4821	電気代	200,000
15	4823	燃料費 (ガソリン代)	75,000
16	4840	研修費	1,400,000
17	4848	試験関連費	1,200,000
18	4899	その他	200,000
		小計	3,295,000
	4900-修理保守		
19	4901	車両	20,000
		小計	20,000
合 計			8,789,000

(出所) NAPE 保管資料 (2002年7月23日付け DPE 発行文書)

Reference No. 3B/3PE (hi)/NAPE, Mymensingh, /2002-2003/1057



● 開発予算（単位：千タカ）

コード	サブコード	費目	「バ」国政府	RPA	計
4500	4501	上級職員（Officer）給与	0	1,615	1,615
4600	4601	一般職員給与	265	255	520
4700	4705	住居手当	0	60	60
	4713	祭事費	30	185	215
	4717	医療費	0	5	5
4800	4801	旅費	10	90	100
	4806	通信費	200	0	200
	4821	電気代	100	0	100
	4823	燃料代（ガソリン代）	160	0	160
	4827	出版、研究（C-in-Ed カキユラム）	0	120	120
	4828	文具、切手代	200	0	200
	4831	書籍、定期刊行物代	0	1,400	1,400
	4840	研修費	0	5,000	5,000
	4842	セミナー／会議費	0	2,000	2,000
	4874	コンサルタント費	0	2,000	2,000
	4885	接待費（ご馳走代）	10	0	10
	4888	コンピュータ部品購入費	40	0	40
4900	4901	車両保守管理費	50	0	50
	4906	什器備品管理費	200	0	200
	4911	コンピュータ、事務機器管理費	40	0	40
	4916	器材維持管理費	40	0	40
	4991	その他の保守管理費	60	0	60
合 計			1,405	12,730	14,135

（出所）NAPE 保管資料（2002年8月29日付けDPE 発行文書）

Reference No. PRASHIO/PROSHI/Norway/NAPE/BORADDO/122/98

（注）RPA のフルスペリングは不明だが、ノルウェーがイヤマークした支援予算と考えられる。

## 15. NAPE 2003-04 年度予算執行計画

## NAPE 2003-04 年度予算執行計画

## ● 歳入予算 (単位: タカ)

番号	コード番号	費 目	金額
1	4501	上級職員 (Officer) 給与	2,600,000
2	4601	一般職員給与	1,050,000
		小計	3,650,000
	4700-手当		
3	4705	住居手当	820,000
4	4709	遊興費	95,000
5	4713	祭事費	590,000
6	4717	医療費	213,000
7	4755	紅茶、軽食代	36,000
8	4725	清掃費	5,000
		小計	1,759,000
	4800-配給とサービス		
	4801	旅費 (Director)	20,000
9	4801	旅費 (その他スタッフ)	16,000
	4801	一般職員	14,000
10	4810	市税	60,000
11	4811	固定資産税	5,000
12	4815	郵便代	10,000
13	4816	通信費	80,000
14	4821	電気代	200,000
15	4823	燃料費 (ガソリン代)	80,000
16	4840	研修費	1,600,000
17	4848	試験関連費	1,600,000
18	4899	その他	220,000
		小計	3,905,000
	4900-修理保守		
19	4901	車両	20,000
		小計	20,000
合 計			9,334,000

(出所) NAPE 保管資料 (2003年7月22日付け DPE 発行文書)

Reference No. 3B/3PE (hi)/NAPE, Mymensingh, /2003-2004/308

● 開発予算（単位：千タカ）

コード	サブコード	費目	「バ」国政府	RPA	計
4500	4501	上級職員（Officer）給与	0	500	500
4600	4601	一般職員給与	110	115	225
4700	4705	住居手当	0	0	0
	4713	祭事費	15	100	115
	4717	医療費	0	0	0
4800	4801	旅費	5	40	45
	4806	通信費	100	0	100
	4821	電気代	75	0	75
	4823	燃料費（ガソリン代）	75	0	75
	4827	出版、研究（C-in-Ed カキエラム）	0	100	100
	4828	文具、切手代	100	0	100
	4831	書籍、定期刊行物代	0	1,000	1,000
	4840	研修費	0	5,400	5,400
	4842	セミナー／会議費	0	0	0
	4874	コンサルタント費	0	0	0
	4885	接待費（ご馳走代）	5	0	5
	4888	コンピュータ部品購入費	25	0	25
4900	4901	車両保守管理費	25	0	25
	4906	什器備品管理費	50	0	50
	4911	コンピュータ、事務機器管理費	25	0	25
	4916	器材維持管理費	50	0	50
	4991	その他の保守管理費	30	0	30
合 計			690	7,255	7,945

（出所）NAPE 保管資料（2003年9月28日付けDPE 発行文書）

Reference No. PRASHIO/PROSHI/Norway/NAPE/BORADDO/122/98

（注）RPA のフルスペリングは不明だが、ノルウェーがイヤマークした支援予算と考えられる。

16. ガジプール県 PTI2002-03 年度予算実績

ガジプール県 PTI 2002-03 年度予算実績

コード	費目	収入	支出	余剰	計画
4501	上級職員 (Officer) 給与	130,353	52,823	77,530	706,500
4601	一般職員給与	1,109,907	1,120,832	▲10,925	590,000
4705	住居手当	425,227	408,720	16,507	445,000
4717	医療費	84,300	83,255	1,045	86,400
4755	紅茶、軽食代	15,600	15,500	100	15,600
4713	医療費	198,051	195,531.5	2,519.5	216,000
4709	遊興費	20,000	14,710	5,290	25,000
4725	清掃費	1,680	1,680	0	1,680
	特別手当				76,550
4801	旅費	5,000	4,822	178	25,000
4810	市税	145,000	145,000	0	218,920.9
4811	固定資産税	7,260	7,260	0	7,260
4815	郵便代	1,300	1,300	0	1,500
4816	電話代	9,000	8,979	21	32,000
4819	水道代	4,000	3,600	400	5,000
4821	電気代	260,000	251,002.6	8,997.4	95,000
4899	その他	15,000	14,894	106	24,000
	合計	2,431,678	2,329,909.1	101,768.9	4,541,699

(出所) ガジプール県 PTI 資料

17. ガジプール県 Lotifpur URC 年間活動計画

URC Work Plan for 2003  
URC Lotifpur  
Kaliakoir, Gazipur

	Name of activities	Responsibilities	No. of participants/ Number	Date and duration	Budget	Comments
1	Subject base training	—	—	—	—	—
1.1	Selection of teacher trainer on Mathematics	Superintendent, PTI	12	Apr. 20-30		1 day
1.2	TOT for teachers trainer on Mathematics	Superintendent, PTI	8	May 1-15		10 days
1.3	Training for teachers on Mathematics	Instructor/AUEO, URC	250 (10 batch)	May 20-30		6 days/ batch
1.4	TOT for teachers trainer for refresher training on English	Superintendent, PTI	5	Sep. 1-15		7 days/ batch
1.5	Refresher training for teachers on English	Instructor/AUEO, URC	238 (10 batch)	Oct. 15- Dec. 25		4days/ batch
2	Review Meeting	URC committee	3	Apr. ,Aug., Dec.		—
3	Newsletter	Instructor/AUEO, URC	2	Jul.-Dec.		—
4	15 days training for Instructor/AUEO	Superintendent, PTI	2	Sep. 17- Oct. 1		—
5	Sub-cluster training supervision	Instructor/AUEO, URC	4	Continuous		—
6	Reporting	Instructor/AUEO, URC	Need based	Continuous		—

18. URC 小学校訪問時のモニタリングフォーマット (和訳)

URC 用学校視察シート  
(科目別)

1. 学校名  視察日
2. 教員数  当日出勤した教員数  欠席理由
3. 視察した教員の氏名と役職 (担当)
4. その教員の教育 (研修) 歴  
SSC  HSC  HSC 以上   
C-in-Ed  その他
5. 視察した学年  
1 年生  2 年生  3 年生  4 年生  5 年生
6. 視察したときに授業を行っていた部分 (箇所)
7. 上記の部分についてどの程度教員が適切に教えていたか。
8. 教員が生徒を安心させるために、また学習を活発にするために何をしていたか。  
(1) 安心させるためにしていたこと   
(2) 活発にさせるためにしていたこと
9. 授業の準備のために何かをしたか。  
はい  いいえ   
もし答えが「はい」の場合、授業中にそのとおりに実践したか。  
すべて  部分的に
10. 教員は授業で教材を使ったか？  
はい  いいえ   
もし答えが「はい」の場合、どんな教材を使ったか。  
写真/図  模型  物 (物体)  その他
11. 教員の教えかたは生徒に対して好影響を与えたか。  
はい  いいえ
12. 30 分間の授業に教員は何分間参加したか。  
15~25 分   
10~15 分   
5~10 分

算数  
(URC用教室視察シート)

1. 教員がこの日の授業のために生徒に対して算数に関する予習をさせたか。  
はい  いいえ   
もし答えが「はい」の場合、生徒たちはそれをよく理解できたか。  
大部分ができていたら はい  いいえ
2. 教員は黒板に問題を書いて答えを与える前に、その問題についてよく説明したか。  
はい  いいえ
3. 生徒たちはグループに分かれて数を学習したか。  
はい  いいえ
4. 教員は遊びを通して算数を教えたか。  
はい  いいえ
5. 生徒たちは何パーセント問題を解決できたか。  
80%以上   
60-79%   
40-59%   
40未満
6. 学校のプラス面（良いところ）
  
7. より良い学校にするためのアドバイス

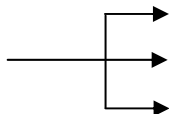
以上

英語  
(URC 用教室視察シート)

1. 教員は教授言語として英語を使ったか。

2. 教員は英語からベンガル語へ翻訳して教えたか。

もし答えが「いいえ」の場合、教員からのインプットと練習のときにどんなことをしたか。

(a) インプット 

(b) 練習 (Practice) : PW  SGW  WCW   
Games  Role Play  その他

3. 教員は宿題を与えたか。

はい  いいえ

4. 小学校3年生から5年生までのいずれかの5人の生徒 (any five students) の中で何人がよく読むことができるか。

5. 小学校3年生から5年生までのいずれかの5人の生徒 (any five students) の中で何人が単語や文をよく書くことができるか (黒板に書かせる)。

6. 生徒たちは英語の質問に答えられるか (大部分が答えられれば)

はい  いいえ

以上